



2019年8月1日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証第1部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 瀧澤 勉
(TEL 03-5488-6601)

2020年3月期 第1四半期業績の概要と通期業績予想について[IFRS]

□ 第1四半期業績の概要 — 楽器事業は堅調も部品・装置事業の市況悪化を受け、 対前年同期、減収・減益 —

2020年3月期 第1四半期の売上収益は、楽器事業が堅調に推移したものの、部品・装置事業の市況悪化と為替影響△23億円により、前年同期に対し50億円(4.8%)減少の995億円となりました。事業利益は、部品・装置事業の悪化と為替影響△11億円により、前年同期に対し16億円(13.2%)減少の108億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、22億円(23.2%)減少の73億円となりました。

<事業セグメント別の売上収益・損益の状況>

●楽器事業

売上収益 675億円(前年同期比 1.4%減) 事業利益 98億円(前年同期比 1.9%増)

アコースティックピアノは中国で成長速度の減速が見られたものの、その他の新興国で好調を持続したことに加え、欧州での販売が回復しました。デジタルピアノは北米での売上げが全体を牽引しました。またギターは中国をはじめ全ての地域で販売を伸ばしましたが、管楽器は国内の販売減などで前年を下回りました。

セグメント全体の売上収益は、販売が概ね堅調に推移したものの、前年同期に対し△17億円の為替影響があり、10億円減少の675億円となりました。また事業利益は、△7億円の為替影響を吸収し2億円増加の98億円となりました。

●音響機器事業

売上収益 248億円(前年同期比 4.8%減) 事業利益 9億円(前年同期比 33.7%減)

オーディオ機器および業務用音響機器は欧州での販売が伸長しましたが、ICT機器は国内での販売が減少しました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し△7億円の為替影響を含め、13億円減少の248億円となりました。また事業利益は、△4億円の為替影響により4億円減少の9億円となりました。

●部品・装置、その他の事業

売上収益 72億円(前年同期比 27.5%減) 事業利益 1億円(前年同期比 95.5%減)

FA機器および電子デバイスは市況悪化により販売が減少しました。

セグメント全体の売上収益は、前年同期に対し27億円減少の72億円となりました。また事業利益は、14億円減少の1億円となりました。

□ 2020年3月期 通期業績予想 — 前回予想を据え置き、着実な増収・増益を予想 —

2020年3月期の通期業績予想は、5月9日に公表した売上収益 4,440億円（前期比 2.2%増）、事業利益 550億円（前期比 4.3%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益 425億円（前期比 5.4%増）を据え置きます。

なお、IFRSに基づく2019年3月期の実績は、売上収益 4,344億円、事業利益527億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 403億円となりました。

*本予想における想定為替レートは、対USドル110円、対ユーロ125円です。

注1) 当社グループは、2020年3月期第1四半期よりIFRSを適用しております。また、前第1四半期および前連結会計年度の財務数値についても、IFRSに準拠しております。

注2) 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

注3) 文章中の売上収益、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2020年3月期第1四半期業績資料 <IFRS>

ヤマハ株式会社
2019年8月1日

	前期第1四半期実績	第1四半期実績	前期実績	当期予想 ^(**)
	19年3月期	20年3月期	19年3月期	20年3月期
売上収益	1,045億円	995億円	4,344億円	4,440億円
うち国内	335億円 (32.1%)	294億円 (29.6%)	1,298億円 (29.9%)	1,290億円 (29.1%)
うち海外	710億円 (67.9%)	701億円 (70.4%)	3,046億円 (70.1%)	3,150億円 (70.9%)
事業利益 ^(*)	124億円 (11.9%)	108億円 (10.8%)	527億円 (12.1%)	550億円 (12.4%)
営業利益	121億円 (11.6%)	111億円 (11.2%)	528億円 (12.2%)	550億円 (12.4%)
税引前利益	131億円 (12.5%)	110億円 (11.1%)	565億円 (13.0%)	580億円 (13.1%)
当期利益 ^(**)	95億円 (9.1%)	73億円 (7.3%)	403億円 (9.3%)	425億円 (9.6%)
為替レート(決済レート)	108円/US\$ 132円/EUR	111円/US\$ 126円/EUR	111円/US\$ 131円/EUR	110円/US\$ 125円/EUR
ROE ^(**3)	10.4%	8.3%	11.1%	11.3%
ROA ^(**4)	6.9%	5.8%	7.5%	8.0%
1株当たり利益	52.2円	40.8円	222.1円	238.2円
設備投資額 (減価償却費)	38億円 (26億円)	38億円 (27億円)	160億円 (106億円)	220億円 (127億円)
研究開発費	61億円	61億円	249億円	265億円
(キャッシュフロー)				
営業活動	△ 42億円	72億円	355億円	620億円
投資活動	△ 44億円	△ 41億円	△ 231億円	△ 220億円
フリーキャッシュフロー	△ 86億円	31億円	124億円	400億円
期末在庫高	1,000億円	1,046億円	1,010億円	1,007億円
(要員数)				
国内	5,898人	5,843人	5,736人	5,700人
海外	14,487人	14,606人	14,639人	15,400人
正社員計 ^(**5) (連結範囲変動による増減)	20,385人 -	20,449人 -	20,375人 -	21,100人 -
正社員外要員(期中平均)	7,668人	8,128人	7,733人	7,800人
(事業別売上収益)				
楽器	685億円 (65.5%)	675億円 (67.9%)	2,795億円 (64.3%)	2,855億円 (64.3%)
音響機器	261億円 (25.0%)	248億円 (24.9%)	1,201億円 (27.7%)	1,235億円 (27.8%)
その他	99億円 (9.5%)	72億円 (7.2%)	348億円 (8.0%)	350億円 (7.9%)
(事業別事業利益)				
楽器	97億円	98億円	408億円	430億円
音響機器	13億円	9億円	96億円	110億円
その他	14億円	1億円	23億円	10億円

ヤマハグループは、2020年3月期第1四半期より国際財務報告基準(IFRS)を適用しております。

* 1 事業利益とは、売上総利益から販売費及び一般管理費を控除して算出した日本基準の営業利益に相当するものです。

* 2 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期(四半期)利益

* 3, 4 ROE・ROAは年換算値

* 5 要員数＝期末社員在籍数

* 6 通期予想は前回(2019年5月9日発表)から変更なし

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。